



まこと通信

田川市議会議員

教育、研究、開発で 最先端の醸造会社

田川を変える熱い田川人との対談

今回の人

星野 宗広さん

1965生まれ。48歳。

現在：(株) マルボシ酢代表取締役会長、
(株) アスキー代表取締役会長、工学博士

商品の中には、
モンドセレクシ
ョン最高金賞受
賞したものもあ
る。写真はその
トロフィー。



撮影場所

「マルボシ酢本社」

1932年に創業の老舗醸造所。近年は研究開発にも力を入れ、学術分野で11年間に7つの賞（うち2つは国際賞）を獲得。本年11月には関連法人の研究所が新たに建設される。

佐々木（以下：佐）

マルボシ酢・アスキーの両社は研究について多くの投資をしています。実際の仕事にはどのように生かされていますか。

星野（以下：星）

星：果実から果汁は重量の半分しかとれず、あとはお金を出して廃棄しています。しかし今回国際賞を頂いた研究を利用すれば、有効成分を簡単に取り出すことができます。捨てるものが資源に変わる、というのは企業だけではなく社会全体にも価値のあることです。また大手の飲料メーカーの多くに原材料を納めさせて頂いていますが、その販路を拡大する際は品質管理が高いレベルで求められます。そのときに研究分野は信頼の証として大いに生かされています。

佐：私も大学院時代に研究した地方自治やまちづくりも、地域に根ざした学問でよく地域の中にはいっていました。企業活動での実感が研究の中でしっかり繋がることで大きな成果を生み出したすばらしい事例だと思います。また職員に対してはどのような効果がありましたか。

星：研究部門の職員のほとんどが大学や大学院に通いながら研究をしています。教育の場を与えると、人はどんどん成長していきますし意識改革にも繋がります。しかも数年たつと、優秀な社員として卒業してくれます。優秀な職員が集まりにくい地方だからこそ我々はただ優秀な人を待つのではなく、人材育成を会社として行っていくことが今後大切です。

佐：一緒に研究しながら仕事しようという企業は人件費の問題などでなかなか踏み出せていません。社員と一緒に最先端に向き合おうという企業姿勢はきっと社員の方々のやる気につながると思います。

佐：田川地域は企業誘致に関しても厳しい地域です。御社としても、その点で色々厳しいと感じることはありませんか。

星：しかし例えば情報もインターネットが普及しているため、不都合がほとんどなくなってきていますし、福岡・北九州両空港から1時間圏内で足を運べるなどインフラ整備も整っています。また工場の維持コストが都会に比べ格段に安くできる田舎のほうがむしろ有利です。逆に都会にいるメリットが近年はなくなりつつあると思います。

佐：その意見は意外でしたが、考えてみればその通りですね。実は地方のほうが企業誘致に有利であることを例えば数字などをもって丁寧に市役所等が営業に行けば、イメージも変わってくると思います。

佐：今後の田川についてこうなってほしい、というものがありますか。

星：昔、田川は鉱山を掘り出し出荷するために、全世界から最先端の技術力と機器が集約されてきました。また三井鉱山や麻生などが教育機関をつくり、人を育ててきています。その文化や福岡・北九州両都市圏と1時間圏内でつながれる立地を生かし、技術力の集積やそのための教育などが集まる地域になってもらいたいし、その可能性は大にあると思います。

佐：おっしゃるとおり元々はエネルギーの地域だったので、今注目されている自然エネルギーの技術などの集積や、福祉系大学である福岡県立大学と連携し医療・福祉面の先進事例を構築するなど、技術や知識が集積する地域になればと思います。私も取り組んでいきたいと思っています。

後援会長のひとりごと

佐々木 まこと
後援会長

伊藤 龍文

前号に続き「人に好かれる・愛される」ための10訓の後半を紹介したい。

□六つ「おぼこ」うぶなこと。ここでは、一つや二つ弱点や欠点を持っていること。完璧な人（本当は完璧ぶっている人）より、素直に弱点をさらけ出せる人のほうが人間味があり、信頼される。

□七つ「台詞（せりふ）」喧嘩の仲裁ができるくらいの話術を持ち、周りの話の輪に加わること。そのためには新聞に目を通し、ニュースに耳を傾けることなどで常識力が身についていること。

□八つ「力」ここでは体力のこと。人生山あり谷あり、それを乗り越える体力を持っていること。健康であること。

□九つ「胆（きも）」体力と同様に人生には意を決しなければならぬ時が必ず来る。その時の決断力、根性を持っていること。

□そして10番目は「評判」友人、知人や地域の人たちから信頼され、評判がよいこと。さらに番外として「笑顔」いつも柔和で笑顔を絶やさない人は好かれる。人に好かれる・愛される10訓、①見栄 ②男 ③金 ④芸 ⑤精・性 ⑥おぼこ ⑦台詞 ⑧力 ⑨胆 ⑩評判（番外）笑顔

以上、落語の中で江戸時代の長屋を舞台に大家さんが話した言葉を基にした公演であったが、その内容は現代でも適用できるのではないだろうか。

補正予算

山本作兵衛炭鉱記録画 後世につむいでいくために

9月補正予算は、歳出総額で6億1942万8千円の増額修正案となりました。

山本作兵衛氏炭鉱記録画の収蔵庫整備のための設計委託料に関しては、その必要性について議会でも議論となりました。特に「今後山本作兵衛ミュージアム等の建設の話が出ており、二重投資にならないか」という指摘でした。

しかし現状ではミュージアムの新築を行える環境ではなく、長期的視点で考える必要があります。一方山本作兵衛氏炭鉱記録画は元々劣化しやすい絵の具等で描かれている上、温度管理の出来る収蔵庫が博物館内には全くないのが現状です。まずは早急な保存が求められます。

また世界記憶遺産に登録された貴重な財産を、どう後世に山本作兵衛氏の思いと貴重な財産をつむいでいくかについてもっと議論すべきです。学校における炭鉱の歴史教育や、明治期以降の炭鉱の歴史全般について丁寧な掘り起こしを行うなど、ソフト面の取り組みを強化していくことで、山本作兵衛氏の思いを後世につむいでいきたいと思っています。

主な予算

項 目	金 額
○市庁舎太陽光発電整備事業費 市庁舎別館の屋上に太陽光発電を設置する費用です。売電収入で初期投資額は10年程度で回収できるとのことです。	1721万6千円
○観光案内板設置事業費 観光客の利便性向上等のため、観光案内板や歓迎看板を市内各所に設置するための費用です。	1544万1千円
○防災体制充実事業費 自主防災組織を設置した行政区に対し、防災機材の購入等を支援するための費用です。補助率は3分の2以内です。	516万円
○猪位金小中一貫校整備事業費 猪位金校区小中一貫校整備における外壁の改修や空調設備の追加工事費用です。	5993万2千円
○幼稚園園舎改築事業費 市立後藤寺・伊田両幼稚園を合併し新設する市立幼稚園の遊具や備品購入費です。	1499万5千円
○石炭・歴史博物館改修事業費 山本作兵衛氏炭鉱記録画の収蔵庫整備にかかる設計委託料です。来年度に収蔵庫を整備する予定です。	1250万円
○公営住宅等改修事業費 手すり改修（対象団地：三井伊田・松原）や外壁改修（対象団地：後藤寺東・鎮西・三井伊田・後藤寺西・松原・城山）等を行うものです。	2億 1831万8千円
○ごみ袋購入費 円安及び原油高の影響によりごみ袋の購入単価が増加しているため、追加補正するものです（補正前予算額は2506万6千円）。	458万9千円

【訂正とお詫び】
前回発行した本紙（Vol.25 2013.4/16）の記事のうち「特集記事 TOPIC 1 組合立中学校は必要ない」におきまして「一部首長の強い意向によって設立をされたようです。」と記述しておりましたが、誤りであったことから本文を削除させて頂きました。読者及び田川郡町村会の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

一般質問

TOPIC
1

猪位金校区の振興 空洞化に歯止めと振興策を

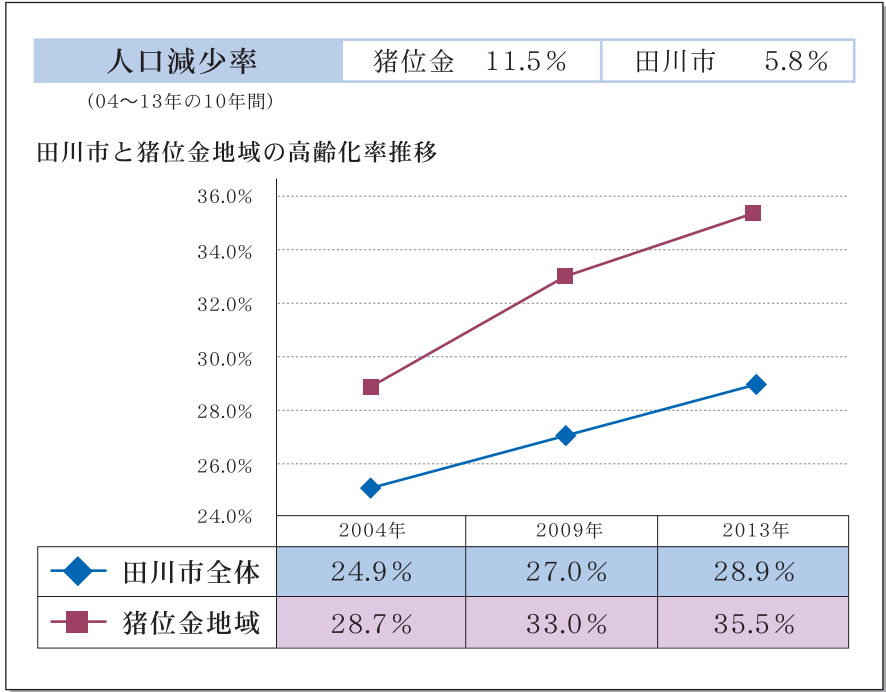


今回取り上げた猪位金地域は、田川市の最南部に位置し風光明媚な農村である一方、高齢化率は市内各校区の中で最も高く、人口減少率も市全体の2倍も高い状況にあります。今後行政との関わりや活性化に向けた取り組みが必要な地域でもあります。

まず大法山周辺地域について質問。ここは市民のレクリエーション拠点として都市計画マスタープランでもうたっていますが、1961年以降抜本的な整備がされていませんでした。同地域整備について執行部は整備に向けた取り組みを行うことを約束しました。

田川市唯一の宿場町だった猪膝（いのひざ）地域については、現在はほとんど整備がされていません。今後、市として歴史の掘り起こしや観光振興につなげると答弁がありました。

猪位金地域で増えている空き家の対策について、空き家バンクの取り組み強化を訴えました。執行部としては、市全体として取り組みを強化していきたいと答弁しました。



TOPIC
2

子育て・子ども支援 出産から育児まで切れ目ない 支援を

まず産じょく期（産まれて2ヶ月未満の時期）の母子支援について質問しました。出産後、自宅に帰った直後が母子にとって最も負担のかかる時期だと言われています。田川市では来年度から「ファミリーサポート事業」を実施することにしておりそこで産じょく期母子の支援も加えてほしいと訴えました。市長からは「産まれてからこそ大切であり、若者定住をあらゆる形でしていきたい」と答弁がありました。

続いて本市の児童虐待について質問。相談件数は年々増加の一途をたどっており、近年はネグレクト（育児放棄）など長期的な支援が必要となる事案が増えています。児童相談に関する業務を行う職員の増加や、福祉部署を中心とした他機関連携、十分な予算配置を訴えました（児童虐待については4ページに詳報）。

活動報告

7/27



後藤寺浴衣祭りや夜市に参加。氷柱が気持ちよかったです。

8/15



地元青壮年団主催の盆踊り会に参加しました。地域活動もがんばっています。

8/28



沖縄の普天間基地の即時返還を求め行動しました。基地のない沖縄をこれからも求めていきます。

9/11



後藤寺商店街関係者の方々と福岡市香椎地区土地区画整理事業を見学しました。

9/22



地元老人会の敬老会に参加。毎年参加者一人ひとりのスナップ写真を撮ってお渡ししています。

9/29



夏休みを利用して議員活動を学ぶインターンの受け入れをしています。若者と政治をつなげる活動も続けていきます。

July 7月(16日から)

- 17 参院選支援行動
- 18 野田国義参院候補個人演説会
- 19 参院選支援行動
- 20 参院選支援行動
- 22 福山市議会視察対応
- 23 ドットジェイビー福岡支部二次面接
- 26 原水禁平和行進
- 28 後藤寺浴衣祭り・夜市
- 29 後援会会議
- 30 猪位金小学校見学
- 31 陳情活動(東京)

August 8月

- 1 陳情活動(東京)
- 2 滋賀県市議会議長会質問力研修コーディネーター参加(滋賀県)
- 3 滋賀県市議会議長会質問力研修コーディネーター参加(滋賀県)
- 5 地域包括ケア勉強会(福岡市)
- 8 国土交通省陳情(福岡市)
- 9 田川市電子計算組織 運営協議会
- 11 後援会会議・初盆参り
- 12 初盆参り
- 13 初盆参り
- 14 初盆参り
- 15 猪位金4区盆踊り
- 17 ドットジェイビー福岡支部結成10周年記念レセプション(福岡市)
- 18 森田宗博先生瑞宝双光章叙勲祝賀会
ドットジェイビー福岡支部研修会(福岡市)
- 19 後援会会議
- 20 母と女性教職員の会勉強会
- 22 田川市主任児童委員視察対応
- 23 市議会総務文教委員会/市議会各会派代表者会議/後援会会議
- 26 田川市電子計算組織管理運営審議会
- 28 沖縄・普天間基地視察(沖縄県)
- 29 沖縄視察(沖縄県)/無料法律相談/後援会会議
- 30 市議会各会派代表者会議/香月隆一議長就任祝賀会
- 31 高退協田川支部総会/地域包括ケア講演会(志免町)

September 9月

- 2 一般質問締切日
- 6 市議会本会議(1日目)
- 8 母と女性教職員の会
- 10 後援会会議
- 12 市議会本会議(2日目)
- 13 市議会本会議(3日目)
- 14 後援会会議
- 15 平和コンサート
- 17 市議会総務文教委員会/後援会会議
- 19 市議会総務文教委員会
田川地区地域包括ケア勉強会
- 21 麻生飯塚病院TQM大会(飯塚市)
- 22 猪位金4区敬老会
- 23 後援会会議
- 26 市議会本会議(4日目)
- 27 田川校区活性化協議会視察対応
- 29 ドットジェイビー福岡支部最終報告会(福岡市)
- 30 市議会総務文教委員会(決算審査)

October 10月(24日まで)

- 1 福退協視察対応
- 4 田川市都市計画審議会
- 5 もやい九州合宿
- 6 もやい九州合宿
- 7 後援会会議
- 9 市議会本会議(5日目)
- 10 総務文教委員会視察(武雄市・伊万里市)
- 12 連合福岡列島クリーンキャンペーン
- 17 田川地区地域包括ケア勉強会
- 18 後援会会議
- 21 市議会各会派代表者会議/国際反戦デー田川地区集会
- 22 総務文教委員会視察(東京都)
- 23 総務文教委員会視察(山梨県)
- 24 総務文教委員会視察(山梨県)

田川の未来は、変えられる。

佐々木 允(ささき まこと)

現職

Profile

福岡県田川市生まれ
生年月日：1981年5月6日 血液型：O型

学歴

田川市立猪位金中学校卒業
福岡県立東鷹高等学校卒業
龍谷大学法学部政治学科卒業
北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)

blog, Twitter, facebook

佐々木 まこと で検索



特集記事

増え続ける児童虐待と児童相談

田川市の児童虐待の相談件数は2008年度の30件から昨年度は57件と1.9倍に増加しています(図1参照)。単純計算すると1週間に1回は児童虐待関連の相談が行われていることになります。

児童虐待の場合、男性による身体的虐待が多いように感じるかもしれませんが、その虐待者の割合は7割以上が実母であるのが現状です(図2参照)。また半数以上が小学校就学前の幼児に対する虐待であり、事実多くの母親が「自分も虐待をするのではないか」と思うぐらい精神的に追い込まれた時期があると答えていました。幼児期における行政の育児支援の充実が急がれます。

近年増加している虐待に、育児放棄(通称:ネグレクト)があります(図3参照)。十分な食事を与えない、病気になっても病院に連れて行かない、など複数の要因が絡んでいる事案が多く、長期的かつ複数の行政機関からの支援が必要となります。またその場合、住民の情報を細かくつかみやすい市町村の役割が求められます。

すべての子どもは
社会の子どもである

これらの数字は通報のあったものだけを対象としており、潜在的にはもっと多くの児童虐待が田川市にも発生しているのではないかと思います。保育園・幼稚園・小学校・中学校での児童虐待に関する相談体制の充実、市や県による専門職員の増員、親同士のネットワーク構築や地域住民に対する児童虐待に関する周知の徹底などが必要です。

これからの田川や日本を背負う子ども達に、素敵な笑顔と幸せを全力で提供する事こそ、今の大人の責任です。私も今度もこの問題を追いかけていきます。

図1 児童虐待相談受付件数

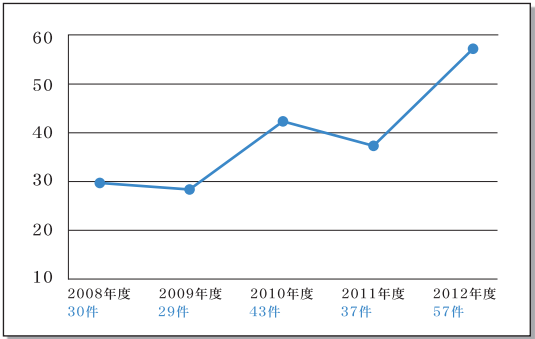


図2 虐待者の割合(2012年度)

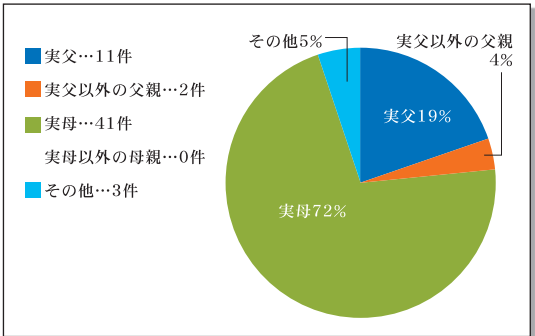
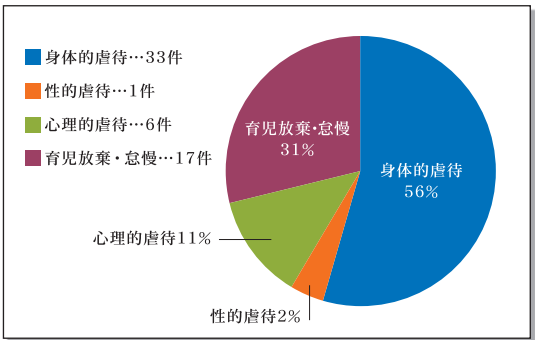


図3 虐待相談種類別の割合(2012年度)



まこちゃんがいく
次回もお楽しみに!

データで見る田川市

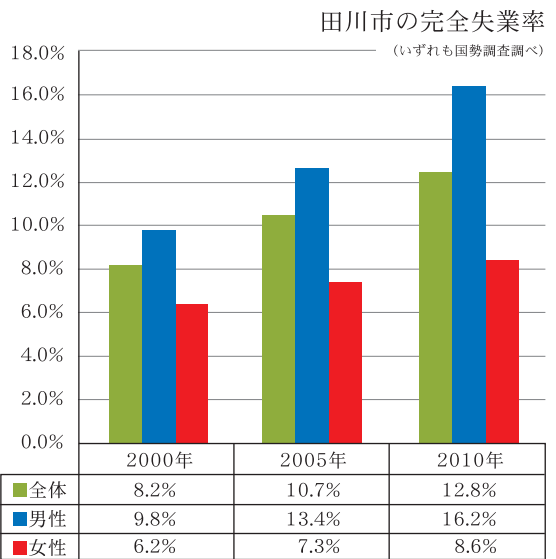
第3回：田川市の失業率について

田川市は2010年の国勢調査で、失業率が12.8%にもものぼることが分かりました。これは全国812市区の中で809番目という極めて悪い数字です。

年次的に見ても2000年には8.2%、2005年には10.7%と調査毎に悪化しているのが現状です(別表参照)。

特に厳しいのが男性の失業率で、2010年の調査では、16.8%と全国平均の3倍以上の失業率となっています。これは特に男性型雇用である製造業や建設業といった職種が減少しているためと思われます。事実、2001年から2009年の9年間で建設業990人、製造業1249人の従業員が減少しています。一方で女性主体の職場である医療福祉分野の従業員数は5535人と就業者全体の23.3%を占め、分野別では最大となっています。

今後の取り組みとしては特に男性雇用の拡大が急務です。男性失業者に対する就業に繋がる職業訓練の実施や、雇用に向けた様々な支援、市域を越えた雇用環境の調査など、市と県が一体となった労働行政の実施が必要です。



無料法律相談
実施中

月に1回(おおむね月の下旬)、弁護士による
無料法律相談を実施しています。
お気軽にご相談ください。
(連絡先:0947-42-2199)

佐々木まこと後援会事務所

〒826-0044
福岡県田川市大字位登876 mail makt56@hotmail.com

blog, Twitter, facebook 佐々木 まこと で検索してください!

